



夢を描く



さて、みなさんの夢は何ですか？私は欲張りなのか、心には沢山の「夢」や「願い」が詰まっています。なんといつても第一は、子供達を全員立派に育て上げたい！そして、一人残らずシアワセになって欲しい！との、親としての切実な願い。

次に、両家の両親の健康長寿。あと、私の母は十四年間寝たきりなので、せめて言葉が話せたらと願っています。だから、一人暮らしの父の、二人分の健康。また遠方の大切な友との再会や、就きたい仕

事。あつ、そうそう夫のシアワセもさらに宇宙から地球を見たい！なんていう家族の呆れる夢。

私にとって心に夢や希望を描くことは、食事をしたり、眠ったりすることと同じくらい大切なことです。もし、未来に夢や希望を持てなければ、今まで遭遇した大きな困難を、乗り越えられなかったかもしれない。夢や希望には、人が人らしく生きて行く為のエネルギーがあると思うからです。

でも、その夢や希望を根底で支えているのは、温かい人と人との繋がり。幸い、私は沢山の良い人達に恵まれ、励まされてここまで来ました。現代は、何でも自由に出来るけれど、その反面、夢を描きにくい時代だとも聞きます。暗い世相や、希薄になった人間関係を考えると、当然なのかもしれません。

そんな今を生きる一人として、何が出来なのか？大きなことは出来なくても、今いる場所に出逢う人達と温かな対話を交わし、励ましを送ることぐらいは出来るそうです。

夢は叶えてこそ夢。今日一日を大切に、自他共の希望に向かって、元気に頑張れる自分でありたい！

今回は、下町の松本和美まつもと かずみさんに登場していただきます。

わがまま

再見

⑦

熊本県総合射撃場

熊本県総合射撃場（村坂幸男場長）は、砥川の船野山（三〇七・八坪）の中腹にあります。岩戸川に沿って県道235号を登ると左手の高台に、突如といった感じで現れます。平成十一年の「くまもと未来国体」のときに県が作ったもので、現在は熊本県クレー射撃協会が運営しています。

◆九月の大分国体でも使用

射撃場は、天然林の南斜面をくり抜いたコンクリートの巨大な壁が屏風のように立ち、だかり、それに向かい合った平地にクレー射撃場（トラップとスキート各二面ずつ）、ライフル射撃場（小口径ライフル射撃、エアライフル射撃、ビームライフル）があります。

総面積は二十二畝で東京ドームの五倍の広さ。全国でも二カ所しかない国際大会が開ける「3A」の施設です。「日本オリンピック委員会クレー射撃強化センター」でもあります。今年の大きなイベントは、大

全国でも屈指の国際級射撃場



分国体の開催に伴う施設の提供（九月二十八日～三十日）。大分県には、開催できる施設がないため、この施設を使うのです。全国から数百人の選手、関係者が訪れます。

◆ビームライフルの勧め

もうひとつは、昨年に続いての第二回アジア親善大会。十月末に計画されており、八カ国から参加予定です。

射撃場の利用は、銃砲所持許可書を持つ人に限られますが、光線を使ったビームライフルだけは、だれでも自由に利用できます（二時間二百二十円）。射撃場では、益城町民の気軽な利用を呼びかけています。（T）